

### 3 生涯にわたるスポーツの推進

- 1 スポーツ推進委員設置事業
- 2 市民体育大会開催事業
- 3 市民スポーツ振興事業
- 4 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業
- 5 温水プール運営費補助金
- 6 トップアスリート育成事業
- 7 スポーツエキスパート派遣事業
- 8 子どもの体力向上推進事業
- 9 ジュニアスポーツサポート事業
- 10 ほたるいかマラソン開催助成
- 11 バウンドテニス交流大会開催事業
- 12 市民スポーツフェスタ開催事業
- 13 夢の教室開催事業
- 14 スポーツ・健康づくり推進事業
- 15 ウォーキングサッカー大会開催事業
- 16 宇津木杯ソフトボール交流大会開催事業
- 17 社会体育施設管理事業
- 18 テニス村管理運営事業
- 19 総合体育センター管理運営事業
- 20 総合体育センター整備事業
- 21 スポーツ・健康の森公園管理運営事業
- 22 スポーツ・健康の森公園管理整備事業



# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 434

事業名	スポーツ推進委員設置事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01 保健体育総務費
根拠法令等	スポーツ基本法、スポーツ推進委員設置に関する規則				

## 事業の対象

誰・何に対して	市スポーツ推進委員
---------	-----------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市民のスポーツ振興のため、研修会の開催等により活動を支援し、資質の向上を図る。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
研修会、講習会等の参加人数	人	目標	/	50	150	150	150
		実績	128	54	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
	①地域におけるニュースポーツの普及振興活動 ②市及び体育協会主催行事の企画、運営協力

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ニュースポーツ体験会、講習会開催数	回	計画	/	0	10	10	10
		実績	3	0	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			2,102	1,884	2,589	2,589	2,589
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,102	1,884	2,589	2,589	2,589
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			3,220	2,984	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	法律に定めて設置しており、生涯スポーツの普及、振興を図るため必要である。
有効性	やや高い	市、地域スポーツの振興を図るため、各種研修会などの開催、参加により資質向上を図る事業を実施している。
効率性	やや高い	事業の一部については、市体育協会等との連携により、事業の効率化を図っている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

本市のスポーツ振興を推進するための中心的な役割を担うため、事業継続は必要不可欠である。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	委員選出は地区からの推薦のみに頼るのではなく、担当課においても有望な人材の発掘に努めていく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

その他

評価者	評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一
-----	-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 435

事業名	市民体育大会開催事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

## 事業の対象

誰・何に対して	一般市民
---------	------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	スポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図る。
------------------	-------------------------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市民体育大会参加者数	人	目標	/	—	2,500	2,500	2,500
		実績	2,500	—	/	/	/
根拠							
		目標	/				
		実績			/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	競技運営を市体育協会及び単位協会に委託し、各競技種目を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、事業を中止した。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
競技種目数	種目	計画	/	—	24	24	24
		実績	24	—	/	/	/
		計画	/				
		実績			/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,745	0	1,745	1,745	1,745
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,745	0	1,745	1,745	1,745
人件費(B)			807	794	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,552	794	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の健康の保持増進及び競技力向上を図るため、大会を開催しており、運営についても市体育協会へ委託している。
有効性	高い	例年24競技種目を開催しており、一部県民体育大会の予選会も兼ねている。
効率性	高い	市体育協会へ委託している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

歴史のある市民体育大会は、本市の総合競技イベントとして市民に定着しており、継続して実施していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	事業の実施内容について引き続き市体育協会と連携していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 436

事業名	市民スポーツ振興事業		担当部署	スポーツ課	
将来像	ひとが元気		予算科目	会計 01	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05	保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01	保健体育総務費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰、何に対して	一般市民
---------	------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市民スポーツ大会の開催、全国大会等出場者への激励費、スポーツ少年団への育成助成を行い、スポーツ振興を図る。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
全国大会等出場者数(個人)	人	目標	/	10	150	150	150
		実績	137	10	/	/	/
根拠							
全国大会等出場者数(団体)	団体	目標	/	1	5	5	5
		実績	4	1	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①市民スポーツ大会を開催した。 ②全国大会等出場者へ激励費を支給した。 ③スポーツ少年団へ育成助成を行った。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市スポーツ少年団登録人数	人	計画	/	536	550	550	550
		実績	540	536	/	/	/
		計画	/				
		実績			/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			3,093	894	3,369	3,369	3,369
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		1	1	1	1	1
	一般財源		3,092	893	3,368	3,368	3,368
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			4,211	1,994	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民が参加しやすい大会の開催や、全国大会等へ県代表として出場した選手への激励費の支給、スポーツ少年団組織の育成など、生涯にわたりスポーツに親しむ環境整備のために必要不可欠である。
有効性	やや高い	市民スポーツ意識の高揚を図るため、必要な事業であるが、市民スポーツ大会開催については、種目変更や参加者層の拡大を図るため検討する必要がある。
効率性	高い	スポーツ大会の開催については、市体育協会へ委託している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

市民のスポーツ振興を図るため必要な事業である。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	全国大会等出場者(主にジュニア層)の増加に伴い、激励費の支出が増えている。他事業を統合するなど、柔軟に対応できるよう改善していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--	--	--	--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	-------	-----	--------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 437

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業			担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気			予算	会計 01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり			款	10 教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興			項	05 保健体育費
施策名	① スポーツ普及活動の推進			目	01 保健体育総務費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して	市総合型地域スポーツクラブ
---------	---------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようになりたいか)	スポーツ振興を図るため平成15年に設立された「なめりCANクラブ」が、会員を獲得し、会費を主財源として自立運営できるようにする。
-------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
クラブ会員数	人	目標	/	315	500	500	500
		実績	367	323	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>① 多種多様な教室やイベントなどを展開するよう支援した。</p> <p>② バドミントンやレスリング、バスケットボール等の競技協会と連携し、小学生や中学生の活動の場の確保や競技力向上を図った。</p> <p>土日の中学校部活動の地域移行に伴い、中学生の活動の場を確保できるよう支援した。</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室・イベント・セミナー開催数	種目	計画	/	27	30	30	30
		実績	27	22	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費(B)			1,118	794	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,618	2,294	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」へ育成補助金として支出している。自立するためには必要である。
有効性	高い	運営役員が中心となり、毎月会議を行い、クラブの運営状況や今後の方向性等について協議している。
効率性	高い	なめりCANクラブが引き続き自立運営できるよう、協議検討している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

新たな会員獲得に向けて、教室メニューの見直しを図るなど、役員が定期的に協議している。
--

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	会員数の増加及び事業内容について、引き続き検討していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 438

事業名		温水プール運営費補助金	担当部署		スポーツ課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	②競技力の向上		目	01 保健体育総務費
	根拠法令等				

**事業の対象**  
誰・何に対して  
一般市民

**事業の目的と達成度**  
意図(対象をどのようにしたいか)  
幼児から高齢者まで幅広い市民の健康づくりや水泳競技の競技力向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位	目標	R1	R2	R3	R4	R5
全国大会等出場者数	人	実績	1	1	10	10	10
根拠							

**事業の内容と活動量**  
手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
①誰もが利用しやすい施設となるよう指導した。  
②児童生徒～一般まで水泳競技の技術向上に努めるよう指導した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位	計画	R1	R2	R3	R4	R5
入場者数(一般開放)	人	計画		8,000	15,000	15,000	15,000
		実績	9,852	7,657			
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額:計画額(A)			13,740	13,740	13,740	13,740	13,740
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		13,740	13,740	13,740	13,740	13,740
人件費(B)			807	489			
合計事業費(A+B)			14,547	14,229			

**個別評価**

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	(公財)体力づくり指導協会へ補助金として支出している。
有効性	やや高い	幅広い世代の利用が見受けられるが、特に水泳は健康維持や体力向上に有効な手段の一つであることから、高齢者や小学生の利用者増について検討すべきである。
効率性	高い	(公財)体力づくり指導協会へ補助金として支出している。

**総合評価**

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

**事業の課題**  
健康寿命延伸都市の実現や、子どもの体力向上を図るため、関係団体とのより一層の連携が必要である。

**今後の方向性**

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

**評価を踏まえた見直し内容**

事業の課題に対する取組状況  
高齢者や子どもの利用者増を図るため、(公財)体力づくり指導協会、老人クラブ、学校、スポーツ少年団等と連携している。

新年度の予算要求事項(改革・改善案)

その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

**評価者**

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 439

事業名	トップアスリート育成事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	②競技力の向上	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

## 事業の対象

誰に対して	
市内アスリート	

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	
市体育協会と連携しながら小学生から一般まで、各種競技種目での競技力向上を図る。	

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
北信越中学校体育大会出場者数	人	目標実績	12	—	30	20	20
根拠							
		目標実績					
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	
①トップアスリートやトップアスリートに関わる専門家による実技クリニックを開催した。 ②小中学生を対象としたトレーニングスクールを開催した。 ③激励費、選手派遣費、強化育成費を支給し、競技者の金銭的負担を支援した。 ④講習会を開催し、指導者等へのスポーツに関する情報や専門的な知識の提供を行った。	

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
講習会、教室開催数	回	計画実績	17	16	18	18	18
		計画実績					
コスト(千円)							
事業決算額・計画額(A)			4,243	1,814	4,370	4,370	4,370
財源内訳							
国県支出金							
地方債							
その他							
一般財源			4,243	1,814	4,370	4,370	4,370
人件費(B)			1,118	1,405			
合計事業費(A+B)			5,361	3,219			

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市体育協会、中学校体育連盟との連携により推進している。
有効性	やや高い	競技力向上対策の成果に即効性はないが、中長期的な目標を、市体育協会や競技団体を競技しながら進めている。
効率性	高い	市体育協会へ委託している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

県大会や全国大会で活躍するジュニア層や、高校・大学・社会人と競技に取り組む選手も増加してきている。今後も継続していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	スポーツ少年団・中学校運動部活動に対する育成、支援を継続していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--	--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	-------	-----	--------



# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 440

事業名		スポーツエキスパート派遣事業	担当部署	スポーツ課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
	政策	1. 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項 05 保健体育費
	施策名	② 競技力の向上		目 01 保健体育総務費
根拠法令等				

## 事業の対象

誰に対して	市内中学校運動部活動所属生徒
-------	----------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	中学校運動部活動において、顧問(教諭)のほか地域指導者の協力を得て競技力の向上を図る。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
北信越中学校体育大会出場者数	人	目標	/	—	30	20	20
		実績	12	—	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①学校運動部活動の協力者として、顧問と取り組み内容等について協議し、生徒の活動を補助した。 ②競技力向上を図るため、技術指導を行った。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
スポーツエキスパート派遣者数	人	計画	/	14	13	13	13
		実績	13	14	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			647	698	649	649	649
財源内訳	国県支出金		160	160	208	208	208
	地方債						
	その他						
	一般財源		487	538	441	441	441
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,765	1,798	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市内中学校運動部の競技レベルの向上のみならず中学生の体力向上や適正な運動習慣化についても成果がある。
有効性	高い	中学校運動部活動顧問との連携を取りながら進めている。
効率性	高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

## 事業の課題

中学校運動部活動の成果は、着実に出てきており今後も事業を継続する必要があるが、教員の多忙化の課題もあり、エキスパートのあり方について今後検討していかなければならない。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	部活動指導員を増やしていくという国や県の動向に対応していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	
その他	

評価者					
評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 441

事業名	子どもの体力向上推進事業	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	予算科目	一般会計
政策	1 教育と文化のまちづくり	款	教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興	項	保健体育費
施策名	②競技力の向上	目	保健体育総務費
根拠法令等			

## 事業の対象

誰・何に対して	市内小中学校児童・生徒
---------	-------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市内小中学校児童生徒の体力の実態を把握し、学校と連携して、体力向上を図る。
------------------	---------------------------------------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
新体力テストの男女各学年の全国・県平均を上回った種目数(小学校8種目・中学校9種目)	種目	目標	/	—	34	34	34
		実績	13	—	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①保育所(園)、認定こども園、幼稚園で体力測定、市内小中学校児童生徒の新体力テストを実施、分析した。</p> <p>②各学校における体力向上運動を推進した。</p> <p>③幼保小へプレリーダーを派遣した。</p> <p>④指導者研修会を実施した。</p> <p>⑤親子運動教室を実施した。</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市スポーツ少年団登録人数	人	計画	/	536	550	550	550
		実績	540	536	/	/	/
プレリーダー派遣事業への市内園児の参加者数	人	計画	/	459	500	500	500
		実績	458	459	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			574	466	671	671	671
財源内訳	国県支出金		88	80	99	99	99
	地方債						
	その他						
	一般財源		486	386	572	572	572
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,692	1,566	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	全国的に児童生徒の体力低下が危惧されており、継続的に事業を進める必要がある。H28より、幼児期からの継続的な視点で実施できるよう、幼児期運動普及啓発事業と統合して実施している。
有効性	高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。
効率性	高い	H28より、幼稚園、保育所園とも連携し、成果の向上に努めている。各小中学校の体力向上推進委員との連携により効率的に事業を進めている。H28より、幼児期運動普及啓発事業と統合し、幼稚園、保育所園とも連携し、効率性を向上を図っている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

体力向上の成果は、着実に出てきている。事業を継続し、運動好きな子ども、運動が得意な子どもの育成を行っていく。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	体力測定の実施、集計及び分析を小中学校との連携、協力により取り組み集を作成し、次年度につなげる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--	--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 442

事業名	ジュニアスポーツサポート事業		担当部署	スポーツ課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05	保健体育費
	施策名	②競技力の向上		目	01	保健体育総務費
根拠法令等						

## 事業の対象

誰・何に対して  
市内中学生

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)  
部活動の週2日の休養日設定に伴い、生徒の運動量が減少していることから、トレーニング量及び質を確保するため基礎トレーニング講習会等を実施し、競技力の向上を図る。

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
  
専門性の高い指導者等からの、質の高い効果的なトレーニング指導を行った。

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室参加者数	人	目標	/	300	500	500	500
		実績	169	41	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室開催数	回	計画	/	6	10	15	20
		実績	2	6	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			126	39	289	289	289
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		126	39	289	289	289
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,244	1,139	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	専門性の高い指導者を招くことで、質の高い知識や技能に触れることができ、体力や競技力向上につながるため必要である。
有効性	高い	体力向上やそれに伴う技能向上に向けて、より現場のニーズ把握に努めたい。
効率性	高い	事業の一部について、市体育協会と連携すべきである。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

運動部活動所属の中学生における体力や競技力の向上につながる事業であるので、今後も継続して実施していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	実施回数を増やすことや、ニーズに応えるために中学校との連携を密にし、意見等を取り入れていく。専門的な知識や技術を持つ指導者の情報を集め、多面的な指導の提供に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	-------	-----	--------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 443

事業名	ほたるいかマラソン開催助成	担当部署	スポーツ課
将来像	ひとが元気	会計	01 一般会計
政策	1. 教育と文化のまちづくり	款	10 教育費
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興	項	05 保健体育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進	目	01 保健体育総務費
根拠法令等			

## 事業の対象

誰、何に対して	スポーツに関心のある者
---------	-------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	本市の一大スポーツイベントとして定着しており、市内外からの参加者拡大を図り、健康の保持増進に役立てるとともに、本市のPRにも役立てる。
------------------	---

## 成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	人	目標	/	306	700	3,500	3,500
		実績	—	306	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容、目的達成に向けた取組み)	<p>①コロナ禍の中でも、申込を県内在住者300人に限定したり、密を避けるために時間差スタートを取り入れたりするなど感染症対策を講じた上で、「～滑川ほたるいかマラソン～Withコロナチャリティラン2020」と称した代替大会を実施し、市民総参画のイベントとして定着化を図った。</p> <p>②参加費の一部を厚生連滑川病院と市医師会を通じ、医療従事者へ寄付した。</p>
-----------------------	--

## 活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市内参加者数	人	計画	/	57	200	500	500
		実績	—	57	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			2,000	1,500	2,000	2,000	2,000
財源内訳							
	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,000	1,500	2,000	2,000	2,000
人件費(B)			807	794	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,807	2,294	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	富山マラソン前哨戦としても大変好評で、依然ランナーには定着している大会である。
有効性	高い	市体育協会が中心となり、市内関係団体との連携の下事業が進められている。
効率性	高い	市体育協会へ補助金として支出している。

## 総合評価

評価基準	評価
A. 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B. 事業の進め方の改善の検討	
C. 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D. 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

ランナーからは富山マラソン前哨戦としても大変好評で、参加者は年々増加しており、今後も継続していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	天候や社会情勢等の原因により、通常開催が困難になった場合の対応策等を検討している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替大会を規模を縮小して実施した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	-------	-----	--------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 444

事業名	バウンドテニス交流大会開催事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1. 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01 保健体育総務費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して  
スポーツに関心のある者

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)  
スポレクとやま2010において本市が開催会場となったバウンドテニスの普及とともに県外、出場選手に本市の地域住民との交流や滑川市を全国にアピールする機会とする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
大会参加者数	人	目標	/	—	120	120	120
		実績	111	—	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
  
各都道府県バウンドテニス協会への案内により参加を募り、選手の交流や本市のPRを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、事業を中止した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
大会参加都道府県数	箇所	計画	/	—	15	15	15
		実績	13	—	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			250	0	200	150	
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		250	0	200	150	
人件費(B)			807	794	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,057	794	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	第23回スポーツ・レクリエーション祭バウンドテニス開催実績をいかし、競技団体が自主運営できるように検討が必要。
有効性	やや高い	バウンドテニスの普及と市バウンドテニスクラブ育成の推進。
効率性	やや高い	県バウンドテニス協会、市バウンドテニスクラブとの連携。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

バウンドテニスの普及と交流を目的とした大会内容となるように、また、将来的に競技団体が自主運営できるように、関係団体と検討しながら事業を進めていく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	減額
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況  
現在、市教委が事務局を担当しているが、協会への移行を検討している。参加者増を目指し、他県から参加しやすい日程を調整することとしている(R3は、コロナ禍の影響により、当初予定の8月から来春頃に延期することとしている。)

新年度の予算要求事項(改革・改善案)

## その他

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 445

事業名		市民スポーツフェスタ開催事業	担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01 保健体育総務費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して	一般市民
---------	------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市内の各種団体が一丸となって、スポーツへの意識の益々の高揚を図る。
------------------	-----------------------------------

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
市民スポーツフェスタ総合開会式参加者数	人	目標	/	—	700	700	700
		実績	600	—	/	/	/
根拠							
	目標	/					
	実績		/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	市民体育大会、市スポーツ少年団結団式も兼ねた市のスポーツ大会総合開会式を行い、様々なジャンルの市民参加型のスポーツ体験コーナーを設けて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、事業を中止した。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ体験コーナー参加者数	人	計画	/	—	300	300	300
		実績	179	—	/	/	/
	計画	/					
	実績		/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			500	0	500	500	500
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		500	0	500	500	500
人件費(B)			497	489	/	/	/
合計事業費(A+B)			997	489	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	実施については、市体育協会に委託しており、各種団体との連携も図れている。
有効性	やや高い	フェスタ参加者数は高水準を保っており、スポーツへの関心は高まっている。
効率性	高い	市体育協会に委託しており、効率的な運営が可能である。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

市内の各種スポーツ団体が一同に会する唯一のイベントであり、競技スポーツ団体の士気を高め、生涯スポーツ団体の振興に寄与し、スポーツ少年団の団結を深めるものであり、継続的に開催していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	年度当初の市内スポーツ活動の総合開会式として定着するよう、引き続き周知に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	嶋川 福太郎
-------	-------	------	-------	-----	--------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 446

事業名	夢の教室開催事業		担当部署	スポーツ課	
将来像	ひとが元気		予算科目	会計	01
政策	1. 教育と文化のまちづくり		款	10	一般会計
基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05	教育費
施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01	保健体育費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して  
市内全小学校5年生と市内全中学校2年生(中学校H28から)

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)  
様々なアスリートを、特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、夢や目標に向けて努力しようとすることやフェアプレー精神、仲間を大切にする意識や態度を育む。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
夢シート返却率	%	目標	/	100	100	100	100
		実績	100	100	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

①「夢の教室」(授業)をオンラインで実施した。  
・夢先生、児童同士のコミュニケーションを図るためのゲーム  
・夢先生による体験談をもとに夢・努力等考えるトーク、ディスカッション  
・「夢シート」(児童の夢・考え等)の記入

②「夢シート」へ夢先生がコメント記入し、配布した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
実施学校数	校	計画	/	9	9	9	9
		実績	9	9	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			2,237	1,323	2,419	2,419	2,419
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,237	1,323	2,419	2,419	2,419
人件費(B)			1,118	1,100	/	/	/
合計事業費(A+B)			3,355	2,423	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	児童の将来や生き方を考え、心を育てる機会として効果があり必要である。H28から中学2年生も対象に実施し、より現実的に将来の生き方を考える機会となっている。
有効性	高い	(公財)日本サッカー協会「JFAこころのプロジェクト」推進室と連携をとりながら進めている。
効率性	高い	学校との連携により効率的に事業を進めている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

児童生徒が夢や目標に向けての努力やフェアプレー精神などを考える貴重な機会であり、今後も事業を継続する必要がある。感染症対策により、対面式ではなくオンラインの実施で開催。JFAに講師選定について要望依頼等連携を密にする必要がある。また、オンライン実施の課題を示し、連携協力する必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	H30年度からスポーツ教室を実施している。講師、事業内容についてJFAとの協議が必要。事業内容の成果や結果を保護者等へも周知し、事業継続していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

オンラインで実施

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 447

事業名	スポーツ・健康づくり推進事業		担当部署	スポーツ課		
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01	一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10	教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05	保健体育費
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01	保健体育総務費
根拠法令等						

## 事業の対象

誰・何に対して	一般市民
---------	------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	「スポーツを通じた健康長寿社会等の創生」を目的に、健康増進の意識の醸成を図る。
------------------	---

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
キラリン健康ポイント 申込数	枚	目標	/	670	1,000	1,000	1,000
		実績	764	665	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①ウォーキングイベント及びラジオ体操、ヨガ、ストレッチ等を行う朝の集いを開催した。 ②スポーツや健診受診等の取組みに応じたポイントラリーを実施し、当選者に記念品を贈呈した。
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ウォーキングイベント 実施回数	回	計画	/	2	3	3	3
		実績	2	3	/	/	/
朝の集いの参加者数	人	計画	/	465	1,000	1,000	1,000
		実績	841	465	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			883	775	740	740	740
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		883	775	740	740	740
人件費(B)			1,118	1,405	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,001	2,180	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツを通じた健康づくりへの関心が高まりつつあり、引き続き取り組みを継続すべきである。
有効性	やや高い	スポーツ実施率の向上に向けて、スポーツ無関心層への働きかけを強化すべきである。
効率性	高い	なめりCANクラブや市民健康センターとの連携を強化すべきである。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

## 事業の課題

スポーツ無関心層(特に女性、高齢者等)への働きかけを強化することにより、一層のスポーツ実施率の向上を図る必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	健康寿命の延伸を図るため、体力づくりのスポーツ活動や健康診断の受診等と連携した事業を展開し、幼児期から高齢者まで機会の創出に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、事業参加者数が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------



# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 448

事業名	ウォーキングサッカー大会開催事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01
	政策	1. 教育と文化のまちづくり		款	10
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01
根拠法令等					

## 事業の対象

誰に対して	一般市民
-------	------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	スポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図る。
------------------	-------------------------

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①60歳以上と一般の2部門を設け、各リーグ戦形式で行い、種目の特性を生かすことで、年齢差や経験の有無に関係なく、誰もが楽しく活動することができるようにした。</p> <p>②大会の開催をきっかけとして、体験会や研修会を開催し、ウォーキングサッカーの普及や振興を図った。</p> <p>③滑川市スポーツ推進委員協議会と連携し、出前講座等を開催した。</p>
-----------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	人	目標	/	98	100	200	200
		実績	82	98	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
体験会、研修会開催回数	回	計画	/	1	10	10	10
		実績	10	1	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			460	443	456	456	456
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		460	443	456	456	456
人件費(B)			1,428	1,405	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,888	1,848	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	サッカー経験の有無に関係なく取り組める種目で、走ってはいけないという条件により、誰もが参加しやすいものであり、市民のスポーツ振興及び健康の保持増進に必要である。
有効性	高い	市民のスポーツ振興に必要な事業であるが、より多くの市民が参加するために検討する必要がある。
効率性	高い	市サッカー協会等との連携が強化されるべきである。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

市民のスポーツ振興及び健康の増進のために必要な事業である。市内外への周知や多様な団体等への働きかけを工夫する必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	スポーツ推進委員協議会や他市町村、関係団体等と連携し、研修会や体験会の開催等により、ウォーキングサッカーの普及に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

--	--	--	--

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	広井 聡一
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 449

事業名	宇津木杯ソフトボール交流大会開催事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05
	施策名	①スポーツ普及活動の推進		目	01
根拠法令等					

## 事業の対象

誰?何に対して  
市内中学校ソフトボール部員(教室は、小学生や高校生も対象)

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようしたいか)  
ソフトボールの普及や競技力の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
教室参加者数	人	目標	/	61	100	100	100
		実績	78	61	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
  
宇津木氏、関西滑川会、市ソフトボール協会の協力のもと、オリンピックによるソフトボール教室及び県内強豪チームを招いての交流大会を開催した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
大会参加チーム数	組	計画	/	4	8	8	8
		実績	4	4	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			653	734	774	774	774
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		653	734	774	774	774
人件費(B)			1,118	1,405	/	/	/
合計事業費(A+B)			1,771	2,139	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	R2年度の市内中学校ソフトボール部に例年以上に多くの生徒が加入する等効果がでている。
有効性	高い	ソフトボール教室に市内小学生がさらに参加するような対策が必要である。
効率性	高い	今後さらに市にソフトボール協会と連携を強化し、事業の効率化を目指したい。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・廃止の検討	B

## 事業の課題

市民のスポーツ振興及び健康の保持増進、ジュニア層育成のため、滑川高校とも連携を図り、継続的に開催していく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	更なるジュニア層の育成が図れるよう、関係機関と連携していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 452

事業名	社会体育施設管理事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1. 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目	02 体育施設費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して	市内体育施設の管理運営
---------	-------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	市内社会体育施設(下梅沢テニスコート等)の整備、利用促進やグラウンド開放に係る修繕により安全に利用できるよう努める。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
下梅沢テニスコート利用者数	人	目標	/	10,000	13,000	13,000	13,000
		実績	12,086	8,881	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	①下梅沢テニスコート等に係る管理運営及び修繕、改修により利用促進を図った。 ②学校照明機器の修繕により安全な利用対策を行った。
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
学校体育施設利用者数(体育館、グラウンド)	人	計画	/	70,000	90,000	90,000	90,000
		実績	87,854	90,666	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			4,221	4,577	6,167	5,017	5,017
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		1,417	1,700	1,700	1,700	1,700
	一般財源		2,804	2,877	4,467	3,317	3,317
人件費(B)			807	550	/	/	/
合計事業費(A+B)			5,028	5,127	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の身近なスポーツ施設として、本市スポーツ振興の重要な役割を担っている。
有効性	高い	計画的な施設管理に努めている。
効率性	高い	今後老朽化していく施設において、定期的な点検や計画的な修繕など、施設の長寿命化を図るため、対応していく。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

体育施設管理について、経年劣化等による老朽化が進む中、計画的な整備が必要である。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	緊急性、優先度をしっかりと反映させた計画の整備に取り組んでいる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	寺家小学校、東加積小学校の照明の改修を検討する。 フットボールセンター富山のサッカーコートの人工芝張替を検討する。

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 453

事業名		テニス村管理運営事業	担当部署	スポーツ課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計 01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款 10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項 05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目 02 体育施設費
根拠法令等		滑川市みのわテニス村設置条例		

## 事業の対象

誰・何に対して  
みのわテニス村の管理運営

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)  
テニスコート、クラブハウス、健康休養施設について効率的に管理するとともに、利用率向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
テニス村利用者数	人	目標	/	36,000	75,000	75,000	75,000
		実績	53,490	31,196	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
①市内外テニス愛好者、学校部活動へ利用誘致を行った。  
②健康休養施設等の計画的な改修整備用対策に努めた。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
テニスコート利用者数	人	計画	/	6,000	20,000	20,000	20,000
		実績	11,515	1,369	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			41,755	36,151	40,099	40,099	40,099
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		41,755	36,151	40,099	40,099	40,099
人件費(B)			497	550	/	/	/
合計事業費(A+B)			42,252	36,701	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市内外から利用される施設であり、今後とも事業を継続し運営していく必要がある。
有効性	高い	テニスコートの利用者数について、子どもの無料化が利用率向上に大きくつながっている。
効率性	高い	施設管理については、文化・スポーツ振興財団へ委託している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

## 事業の課題

新たな客層の獲得や施設の計画的な修繕を図り、市内唯一の温泉施設として事業を展開していく。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	テニス村の今後の方向性について、各関係団体と協議を進めていく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 454

事業名	総合体育センター管理運営事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目	02 体育施設費
根拠法令等	滑川市総合体育センター条例				

## 事業の対象

誰・何に対して	市総合体育センターの管理運営
---------	----------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	本市におけるスポーツの拠点施設としての総合体育センターについて、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
総合体育センター利用者数	人	目標	/	35,000	120,000	120,000	120,000
		実績	83,778	36,676	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①多くの市民に利用いただけるよう、利用調整した。</p> <p>②市内競技団体等との連絡調整を行った。</p> <p>③管理運営業務の効率化を図った。</p>
-----------------------	--

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
利用団体数	団体	計画	/	120	120	120	120
		実績	120	120	/	/	/
根拠							
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			26,876	26,480	26,356	26,356	26,356
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		26,876	26,480	26,356	26,356	26,356
人件費(B)			497	550	/	/	/
合計事業費(A+B)			27,373	27,030	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツの拠点施設として、今後も引き続き管理運営していく必要がある。
有効性	高い	利用者数も向上しており、順調であると考えます。
効率性	高い	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

スポーツの拠点施設としての市総合体育センターを体育協会に管理委託することにより、利用調整や運営の面で成果があると考えます。引き続き、スポーツ・健康の森公園や温水プールとの連携も深めていく必要がある。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	緊急性、優先度をしっかりと反映させた計画の整備に取り組んでいる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	高齢者団体無料化に伴う利用料収入補填分を検討する。

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート（R2年度事業）

事業番号 455

事業名	総合体育センター整備事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目	02 体育施設費
根拠法令等					

## 事業の対象

誰・何に対して  
総合体育センターの整備

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)  
施設の長寿命化を図る。併せて、施設のリニューアルを施すことで、さらなる利用者の増加を目指す。

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)  
GHP点検、LPガス供給設備整備及び更新、武道館非常用バッテリー取替工事、機械室送風機取替工事を実施した。

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
総合体育センター利用者数	人	目標	/	35,000	120,000	120,000	120,000
		実績	83,778	36,676	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績					
根拠							

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
利用団体数	団体	計画	/	120	120	120	120
		実績	120	120	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績					
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			2,293	2,045	4,000		
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,293	2,045	4,000		
人件費(B)			497	550	/	/	/
合計事業費(A+B)			2,790	2,595	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	スポーツ振興の拠点施設として、市総合体育センターを計画的に整備していく。
有効性	高い	老朽化等による緊急的な改修工事や利用者の要望に込えている。
効率性	高い	緊急的の高いものから計画的に実施している。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	B
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

緊急的な工事等に対応してきているが、竣工後30年近く経過しており、さらなる計画的な施設の改修が必要と思われる。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	施設の維持に向け、修繕等の早期対応に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	利用者の安全性向上、省エネによるコスト削減のため、アリーナ床及び照明設備(LED化)の改修を検討する。また、破損が目立つエントランスホール天井、観覧座席、弓道場フェンス及びサービスの終了する電話回線の改修並びに災害対策として防火シャッターへの危険防止装置の取付けを検討する。

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 456

事業名	スポーツ・健康の森公園管理運営事業		担当部署	スポーツ課	
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目	02 体育施設費
根拠法令等	滑川市都市公園条例				

## 事業の対象

誰?何に対して	スポーツ・健康の森公園の管理運営
---------	------------------

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)	本市におけるアウトドアスポーツの拠点施設として、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。
------------------	--

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ・健康の森公園の利用者数	人	目標	/	46,000	60,000	60,000	60,000
		実績	53,013	47,237	/	/	/
根拠							
		目標	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)	<p>①屋外における、スポーツ振興、健康・体力づくり、交流の拠点として、総合体育センターや温水プールとも連携しながら利用促進とサービスの向上に努めた。</p> <p>②施設を活用したイベントを開催することで、市民へのPRを図った。</p>
-----------------------	---

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
イベント開催数	回	計画	/	6	7	7	7
		実績	6	6	/	/	/
		計画	/	/	/	/	/
		実績	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			22,136	22,072	22,570	22,570	22,570
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		1,169	1,108	1,100	1,100	1,100
	一般財源		20,967	20,964	21,470	21,470	21,470
人件費(B)		497	550	/	/	/	
合計事業費(A+B)			22,633	22,622	/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民を中心とした多くの方が利用している。今後も利用しやすい環境を整える必要がある。
有効性	高い	市内外の多くの方が利用している。
効率性	高い	公園緑地課や市体育協会との連絡を密にする

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

## 事業の課題

市民スポーツ振興のために今後とも整備が必要である。
---------------------------

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	総合体育センター等周辺施設と連携し、利用拡大に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。
--------------------------------

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------

# 事業評価シート (R2年度事業)

事業番号 999

事業名		スポーツ・健康の森公園整備事業	担当部署		スポーツ課
施策体系	将来像	ひとが元気	予算科目	会計	01 一般会計
	政策	1 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	基本施策	(5) 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	施策名	③スポーツ環境の充実		目	02 体育施設費
根拠法令等		滑川市都市公園条例			

## 事業の対象

誰、何に対して

スポーツ・健康の森公園の整備

## 事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)

本市におけるアウトドアスポーツの拠点施設として、効率的に整備するとともに、利用率の向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ・健康の森公園の利用者数	人	目標	/	46,000	60,000	60,000	60,000
		実績	53,013	47,237	/	/	/
根拠							
	目標	/	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/	/
根拠							

## 事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)

①屋外における、スポーツ振興、健康・体力づくり、交流の拠点として、総合体育センターや温水プールとも連携しながら利用促進とサービスの向上に努めた。  
②施設を活用したイベントを開催することで、市民へのPRを図った。

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R1	R2	R3	R4	R5
イベント開催数	回	計画	/	6	7	7	7
		実績	6	6	/	/	/
	計画	/	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/	/
コスト(千円)			R1	R2	R3	R4	R5
事業決算額・計画額(A)			15,496	0	400		
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他		6,978				
	一般財源		8,518		400		
人件費(B)			497	0	/	/	/
合計事業費(A+B)			15,993		/	/	/

## 個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	アウトドアスポーツの拠点施設として、今後も引き続き管理運営していく必要性がある。
有効性	高い	利用者数も向上しており、順調であると考えます。
効率性	高い	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。

## 総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当	A
B: 事業の進め方の改善の検討	
C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D: 事業の統合・休廃止の検討	

## 事業の課題

市民スポーツ振興のために今後とも整備が必要であり、サーキットレーニング設備の整備を検討する。

## 今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

## 評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況

総合体育センター等周辺施設と連携し、引き続き環境整備に努めている。

新年度の改革・改善案

## その他

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、施設利用者が減少した。

## 評価者

評価責任者	上田 博之	担当係長	上田 博之	作成者	砂原 知行
-------	-------	------	-------	-----	-------